

議案第1号 令和5年度 事業報告について

事業報告

1 事業概要

令和5年度の草津市シルバー人材センターの事業概要は、次のとおり

会員数	710人	前年度比	2.2%増
契約金額	259,280,249円	前年度比	6.9%増
（うち派遣事業）	83,623,243円	前年度比	42.8%増
就労延人員	57,152人日	前年度比	0.3%増
（うち派遣事業）	17,170人日	前年度比	32.2%増

我が国の経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつある。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えている。

一方、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追い付いておらず、個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠いており、これを放置すれば、再びデフレに戻るリスクがあり、また、潜在成長率が0%台の低い水準で推移しているということが懸念されている。

当センターの契約金額については、受託事業が前年に比べ4.5%減少する一方で、受託事業から派遣事業への切り替えが顕著に進み、派遣事業は42.8%と大きく増加、さらに契約額全体でも6.9%増と前年度を上回る結果となった。

また、全国的に会員数の減少傾向が続く中で、当センターにおいては、令和2年度以降、増加傾向が続いており、前年度に比べ2.2%の増加となっている。

令和5年度の事業実績は上記のような状況にあり、おおむね堅調に推移したと言える。

2 事業詳細

(1) 会員の拡充の推進

役職員と会員が主体となって、会員拡大委員会の活動を中心に会員の拡充に積極的に取り組んだ。

① 会員の就業については、会員就業規則に従い適正かつ公平な就業機会の提供に努めるとともに、可能な限りグループ就業やローテーション就業の推進を図った。

② 入会説明会については、南草津駅前の「市民交流プラザ：フェリエ南草津5階（第1火曜日）」及び草津駅前の「市民総合交流センター：キラリエ草津（第2火曜日）」において毎月定時開催し、併せて参加者アンケートを実施、入会率アップを図った。また、女性限定の説明会について、商業施

設（アルプラザ草津店）にて「会員募集」啓発ポケットティッシュ300個を配付するなど周知を図ったうえで、草津駅前のキラリエ草津で実施し、10人の参加を得た。

- ③ 説明会の周知については、8月に新聞折込による「入会説明会案内チラシ」を3万600枚、11月に滋賀リビングへ「会員募集・女性限定説明会案内チラシ」2万9,840枚、また、2月に湖南フリモ情報誌併配による「入会説明会案内チラシ」を4万4,450枚、それぞれ配布した。
- ④ 市役所1階の市民課待合モニターに、会員拡大と就業開拓を目的とした映像を流し、一般市民や企業に呼び掛けた。新しく1月に「なごみの郷」ふれあいロビーにて、DVDによる業務（入会・就業）説明会の放映を実施した。

こうした取組みの結果、会員総数は、710人となり、前年度（695人）より15人と大きく増えた。

(2) 就業の開拓と拡大の推進

役職員と会員が主体となって、就業開拓委員会の活動を中心に就業の開拓と拡大に積極的に取り組んだ。

- ① 資格や経験を活かした就業を希望する会員を「シルバーハイスキル人材」として登録を募った結果、10名の会員から提出があった。登録のあった会員のスキルをもとに就業開拓チラシを作成した。
- ② 商工会議所の会報誌等を活用して、約2,600社にチラシを配付した。また、商工会議所の合同チラシ「まるごとくさつ」等でも専門性の高い会員の資格や経験を中心に広報を行った。
- ③ 昨年度に引き続き、市役所1階の市民課待合モニターに、就業開拓と会員拡大を目的とした映像を流し、一般市民や企業に呼び掛けた。
- ④ 市の次年度予算見積時期に合わせて、担当課を通じて市役所内電子掲示板にシルバー人材センターの活用についての記事を掲載し、公共の利用を促した。

一方で、請負から派遣への契約切替が進んだことに加え、最低賃金の上昇等に伴う契約終了等により、請負契約金額は昨年実績を下回った。

(3) 安全就業の推進

安全就業適正委員会の活動の中核に据え、「安全は全てに優先する」ことを基本として「事故ゼロ」を目指し、安全活動を継続推進した。

- ① 就業現場への「安全パトロール」を3回（9箇所）実施し、就業状況を確認するとともに現場に応じたチェックリストの改善を行った。
- ② 定時総会終了後に、滋賀労働局労働基準部健康安全課から小山講師を招いて安全大会を開催し、安全への心構えや高所作業の注意等を学んだ。
- ③ 安全就業適正委員会会報「お元気ですか」を3回（5月・10月・1月、

各月約700部)発行し、安全意識の周知・徹底を図った。

- ④ 全国的に事故が多発している職域への重点取り組みとして、植木剪定講習会(30人受講)や機械刈除草(9人出席)の安全就業研修を行い、技術と安全意識の向上に努めた。
- ⑤ 「交通安全教室」(15人受講)を開催し、10地域班の班会議においては、安全就業への心構えを重ねて示し、健康維持と安全対策の再確認と実践を呼び掛けた。

(4) 運営基盤の確立

理事会と事業運営委員会が中心になり、センター全般の諸行事の企画や他の委員会と連携し、組織体制の確立と事業の円滑な推進に取り組んだ。

- ① 高齢者のデジタルスキル向上を目的としたデジタル活用支援推進事業として、スマホ教室を10月3日(16人参加)、12月12日(12人参加)に開催した。
- ② 11月27日にスマホ活用と健康づくり推進を目的に健康推進アプリ「BIWA-TEKU(ビワテク)」の活用講座(11人受講)、12月4日にお互いの人権を尊重するコミュニケーション講座(12人受講)を行い、会員の健康で充実した生活の実現に寄与した。
- ③ 中期計画の数値目標にかかる会員の満足度調査について、より会員の状況に応じた意見を集約できるよう、統計値に影響を及ぼさない範囲で修正を行い実施した。
- ④ 事務費比率の経過措置の改善を行い、より安定した経営基盤の確立と健全経営の推進に取り組み、草津市単独補助金に頼ることなく運営することができた。

3 数値目標の達成状況

	従前値 ^{※1}	目標値	実績値	達成率	
(1) 会員数 (うちプラチナ会員数)	695人 (41人)	705人	710人 (62人)	100.7	
(2) 会員の満足度 ^{※2}	62%	65%	62%	95.4	
(3) 契約額	受託事業	184,026千円	185,400千円	175,657千円	94.7
	派遣事業	58,547千円	64,600千円	83,623千円	129.4
計	242,573千円	250,000千円	259,280千円	103.7	
(4) 未就業会員数 ^{※3}	66人(10.1%)	47人(7%)	54人(8.3%)	85.1	
(5) 事故発生件数	9件	0件	6件	-	

※1 令和4年度末の数値

※2 加入してよかったと思う会員の割合

※3 目標値:プラチナ除く会員数の7%、達成率:(1-(実績値-目標値)/目標値)×100